

第 5 章

財政収支の見通し

- 1 水道事業の投資・財政計画
- 2 下水道事業の投資・財政計画
- 3 工業用水道事業の投資・財政計画

第5章 財政収支の見通し

1 水道事業の投資・財政計画

(1) 投資・財政計画の方針

水道事業の健全性を確保するためには、耐震診断などを踏まえた施設の耐震性能や老朽化の度合いを詳細に分析した施設整備計画の策定と、計画に基づいた事業の着実な実施が求められます。

一方で、投資事業には多大な資金が必要となるため、その「投資試算」（投資事業にかかる費用の見通し）と「財源試算」（水道料金収入など財源の見通し）を均衡させることが、持続可能な水道事業を実現するうえで非常に重要になります。

(2) 投資・財源確保の検討事項

投資事業に必要な財源を確保し、「投資試算」と「財源試算」を均衡させるためには、水道施設や管路のダウンサイジングなど「投資の合理化」を進めることで投資費用の圧縮を図るとともに、「経営の効率化」を進めることで事業運営にかかる経常的なコストの削減を図ることが必要となります。

しかし、「投資の合理化」や「経営の効率化」を進めても、なお不足する財源を確保するためには、「料金の見直し」や「企業債の発行」を検討する必要があります。

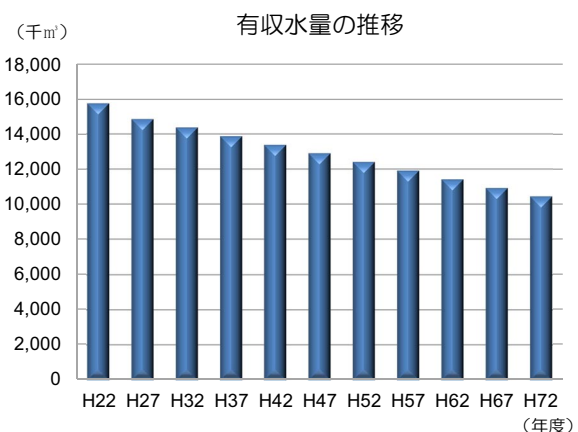
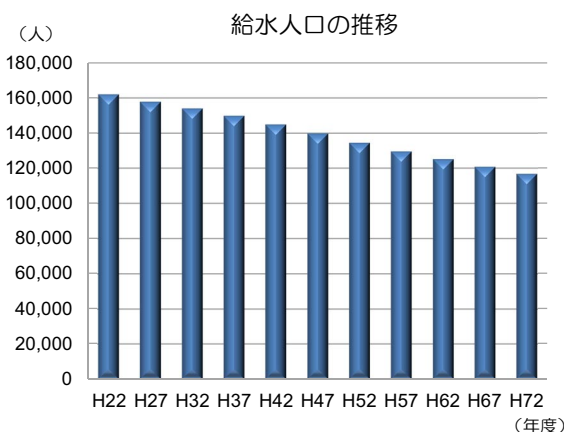
ただし、投資事業に不足する財源を「企業債の発行」によりまかなうことは、人口減少社会では、現役世代が負担すべき費用を将来世代が過度に負担することになるため、企業債発行を抑制することで、企業債残高を減少させていくことが必要となります。

(3) 投資・財政計画の策定条件

① 給水人口・有収水量の推移

高岡市総合計画基本構想による将来人口推計に基づき試算した「給水人口の推移」では、本市の人口減少に伴い給水人口も減少していく見通しです。

また、給水人口の減少や節水機器の普及に伴い有収水量も減少していく見通しです。



【有収水量等の推移】

(単位：千 m^3)

区 分 \ 年 度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
総配水量 (A)	16,296	16,163	16,064	15,942	15,806	15,684	15,565	15,441	15,317	15,195
有効水量 (B)	15,335	15,225	15,148	15,050	14,937	14,837	14,740	14,638	14,536	14,435
有収水量 (C)	14,652	14,539	14,463	14,369	14,260	14,162	14,068	13,969	13,870	13,772
無収水量	683	686	685	681	677	675	672	669	666	663
無効水量	961	937	916	893	869	847	825	803	781	760
有効率 (B)/(A)	94.1%	94.2%	94.3%	94.4%	94.5%	94.6%	94.7%	94.8%	94.9%	95.0%
有収率 (C)/(A)	89.9%	90.0%	90.0%	90.1%	90.2%	90.3%	90.4%	90.5%	90.6%	90.6%

② 算定条件

前提条件		
人口動態		高岡市総合計画における将来人口推計に基づく。
消費税率		平成31年度まで8%、平成32年度から10%とする。
有収率		目標として平成38年度末までに1.1%の上昇を見込む。
試算条件		
収益的収入	給水収益	用途区分ごとに直近5年間の傾向分析により算定。
	長期前受金戻入	固定資産の減価償却に見合う額を計上。
	その他	過去の実績値をベースに個別に変動要素を考慮して算定。
収益的支出	人件費	平成38年度末までに7名の職員数の減少を見込み、平成28年度給与費をベースに定期昇給分を考慮して算定。
	受水費	和田川受水費は平成29年度概算単価を基準に毎年0.2円の上昇を見込む。子撫川受水費は現行水準で算定。
	委託料	委託料は過去実績値に新規委託による増加分を合算。
	漏水修理費	過去の実績をベースに老朽ビニル管の更新などの施策効果を考慮して算定。
	研修厚生費・旅費	過去の実績値をベースに人材育成に伴う資格取得などの費用を考慮して算定。
	減価償却費	平成27年度までの既得資産の減価償却費は固定資産システムより算定。これに、平成28年度以降に取得予定資産の減価償却費推計値を合算。
	支払利息	平成27年度までの借入実績分の支払利息額に平成28年度以降の借入予定額分の支払利息額を合算。
	その他費用	過去の実績値をベースに個別に算定。
資本的収入	企業債	各年度の借入額は、当該年度の元金償還額以下を原則とする。施設整備事業費及び自己財源の推移を考慮して算定。
	その他収入	国の交付要綱などにに基づき算定。
資本的支出	水道施設整備事業費	水道施設整備計画に基づき算定。
	固定資産購入費	水道施設整備計画に基づき算定。
	企業債元金償還	平成27年度までの借入実績分の元金償還額に平成28年度以降の借入予定額分の元金償還額を合算。
	その他支出	過去の実績値をベースに算定。

(4) 財政の見通し

収益的収支は、給水収益の減少に伴い純利益は年々減少していきますが、計画期間中は黒字を確保する見通しです。

一方で、今後も施設の更新や耐震化などに投資を行っていく資金が必要となるため、内部留保資金の活用と企業債発行により資金を確保できる見込みですが、将来の投資資金の確保が難しいなど長期的な事業運営において厳しい状況にあると予測されます。

(5) 水道事業投資・財政計画

① 収益的収支（消費税抜き）

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 入 支 出 収 益 的 支 出	収 入	1. 営 業 収 益	2,890,375	2,902,598	2,851,812	2,828,743	2,804,302
		(1) 料 金 収 入	2,803,121	2,795,347	2,764,062	2,741,374	2,724,709
		(2) 受託事業収益	6,788	4,562	13,735	12,958	12,958
		(3) そ の 他	80,466	102,689	74,015	74,411	66,635
		2. 営 業 外 収 益	438,135	425,046	427,367	429,365	423,271
		(1) 補 助 金					
		他会計補助金					
		その他補助金					
		(2) 長期前受金戻入	313,405	308,992	306,848	307,263	305,519
		(3) そ の 他	124,730	116,054	120,519	122,102	117,752
		収 入 計 (A)	3,328,510	3,327,644	3,279,179	3,258,108	3,227,573
	支 出	1. 営 業 費 用	2,657,407	2,617,244	2,687,683	2,753,037	2,737,194
		(1) 職 員 給 与 費	474,598	406,106	400,684	382,548	379,866
		基 本 給	210,195	176,649	177,269	171,560	170,389
		退職給付費	100,710	87,616	81,569	70,865	70,344
		そ の 他	163,693	141,841	141,846	140,123	139,133
		(2) 経 費	1,111,568	1,146,264	1,178,788	1,242,302	1,221,176
		受 水 費	736,784	704,093	761,933	764,853	769,875
		動 力 費	19,096	19,065	20,330	20,330	20,330
		維持管理費・物件費	328,083	358,861	335,097	398,744	371,165
		そ の 他	27,605	64,245	61,428	58,375	59,806
		(3) 減 価 償 却 費	1,071,241	1,064,874	1,108,211	1,128,187	1,136,152
		2. 営 業 外 費 用	190,741	179,627	173,194	159,126	147,343
		(1) 支 払 利 息	187,430	176,319	166,706	152,887	141,079
		(2) そ の 他	3,311	3,308	6,488	6,239	6,264
		支 出 計 (B)	2,848,148	2,796,871	2,860,877	2,912,163	2,884,537
	経 常 損 益 (A) - (B) (C)		480,362	530,773	418,302	345,945	343,036
	特 別 利 益 (D)		45,408	38,908	65,450	1,040	1,040
	特 別 損 失 (E)		944	936	40	40	40
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		44,464	37,972	65,410	1,000	1,000
	当年度純利益（又は純損失）(C) + (F)		524,826	568,745	483,712	346,945	344,036
	繰越利益剰余金又は累積欠損金		851,563	1,130,375	483,712	346,945	344,036
	流 動 資 産		2,204,085	1,865,114	1,659,858	1,636,189	1,569,108
	うち 未 収 金		353,398	353,398	353,398	353,398	353,398
	流 動 負 債		772,310	792,696	820,960	841,183	875,570
	うち建設改良費分		475,093	491,696	521,775	543,044	577,545
	うち一時借入金						
	うち 未 払 金		204,398	204,398	204,398	204,398	204,398

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
2,784,371	2,761,884	2,741,446	2,721,529	2,700,885	2,680,000	2,659,512
2,704,887	2,682,400	2,661,962	2,642,045	2,621,401	2,600,516	2,580,028
12,958	12,958	12,958	12,958	12,958	12,958	12,958
66,526	66,526	66,526	66,526	66,526	66,526	66,526
420,730	418,862	415,203	423,056	407,164	401,896	397,107
303,632	302,592	299,751	310,547	295,171	290,545	286,179
117,098	116,270	115,452	112,509	111,993	111,351	110,928
3,205,101	3,180,746	3,156,649	3,144,585	3,108,049	3,081,896	3,056,619
2,746,670	2,721,732	2,767,674	2,839,429	2,847,619	2,814,684	2,838,815
376,124	368,936	374,712	369,924	386,530	398,208	404,526
170,568	166,471	169,017	168,713	174,223	178,466	181,274
68,126	67,507	68,609	66,173	70,851	73,820	75,029
137,430	134,958	137,086	135,038	141,456	145,922	148,223
1,213,851	1,186,929	1,215,063	1,284,622	1,247,147	1,195,834	1,202,393
770,693	773,613	776,533	781,587	782,373	785,293	788,213
20,330	20,330	20,330	20,330	20,330	20,330	20,330
368,925	340,225	357,653	384,420	392,058	336,705	340,527
53,903	52,761	60,547	98,285	52,386	53,506	53,323
1,156,695	1,165,867	1,177,899	1,184,883	1,213,942	1,220,642	1,231,896
135,476	123,089	110,641	99,679	90,155	80,924	73,408
129,188	116,776	104,303	93,317	83,767	74,511	66,971
6,288	6,313	6,338	6,362	6,388	6,413	6,437
2,882,146	2,844,821	2,878,315	2,939,108	2,937,774	2,895,608	2,912,223
322,955	335,925	278,334	205,477	170,275	186,288	144,396
1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040	1,040
40	40	40	40	40	40	40
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
323,955	336,925	279,334	206,477	171,275	187,288	145,396
323,955	336,925	279,334	206,477	171,275	187,288	145,396
1,534,519	1,451,749	1,260,243	999,920	932,010	845,367	858,646
353,398	353,398	353,398	353,398	353,398	353,398	353,398
886,406	894,687	866,063	869,266	841,534	778,548	753,140
588,750	596,897	567,803	571,406	542,334	478,423	452,535
204,398	204,398	204,398	204,398	204,398	204,398	204,398

② 資本的収支（消費税込み）

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
資 本 的 収 入	1. 企 業 債		264,000	217,000	285,000	331,000	331,000
	うち資本費平準化債						
	2. 他 会 計 出 資 金		30,095	31,228	60,065	36,287	37,722
	3. 他 会 計 補 助 金						
	4. 他 会 計 負 担 金		21,772	17,765	22,135	28,377	28,775
	5. 他 会 計 借 入 金						
	6. 国（県）補助金		86,023	21,853	65,000	11,333	25,333
	7. 固定資産売却代金		644	10	20	20	20
	8. 工 事 負 担 金		142,706	39,612	86,360	92,290	92,290
	9. そ の 他						
	計 (A)		545,240	327,468	518,580	499,307	515,140
	(A)のうち翌年度へ繰り越され る支出の財源充当額 (B)						
	純 計 (A) - (B) (C)		545,240	327,468	518,580	499,307	515,140
資 本 的 支 出	1. 水道施設整備事業費		1,402,044	1,494,418	1,293,872	1,265,216	1,293,468
	うち職員給与費		76,785	69,768	70,555	72,700	73,852
	2. 固定資産購入費		16,163	17,896	81,005	25,982	47,394
	3. 企業債償還金		446,942	475,093	491,696	521,775	543,044
	4. そ の 他						
	計 (D)		1,865,149	1,987,407	1,866,573	1,812,973	1,883,906
資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D) - (C) (E)			1,319,909	1,659,939	1,347,993	1,313,666	1,368,766
補 填 財 源	1. 損益勘定留保資金		1,238,170	1,554,357	1,263,247	1,231,828	1,284,403
	2. 利益剰余金処分額						
	3. 繰越工事資金						
	4. そ の 他		81,739	105,582	84,746	81,838	84,363
	計 (F)		1,319,909	1,659,939	1,347,993	1,313,666	1,368,766
補填財源不足額 (E) - (F)							
他会計借入金残高							
企業債残高			8,151,439	7,893,346	7,686,650	7,495,875	7,283,831

③ 他会計繰入金

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 支 分			28,443	22,765	32,531	30,812	29,714
	うち基準内繰入金		19,294	17,773	24,045	22,419	21,416
	うち基準外繰入金		9,149	4,992	8,486	8,393	8,298
資 本 的 収 支 分			51,867	48,993	82,200	64,664	66,497
	うち基準内繰入金		46,790	43,827	76,942	59,313	61,051
	うち基準外繰入金		5,077	5,166	5,258	5,351	5,446
合 計			80,310	71,758	114,731	95,476	96,211

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
308,000	286,000	471,000	536,000	296,000	296,000	296,000
38,707	39,445	36,788	34,040	34,675	35,323	35,983
28,867	29,300	26,771	25,563	24,514	22,903	21,975
20	20	20	20	20	20	20
92,290	92,290	92,290	92,290	92,290	92,290	92,290
467,884	447,055	626,869	687,913	447,499	446,536	446,268
467,884	447,055	626,869	687,913	447,499	446,536	446,268
1,183,748	1,141,962	1,510,830	1,635,316	1,137,629	1,201,360	1,136,018
75,020	81,234	82,602	83,988	85,401	86,832	88,290
35,050	74,429	46,063	52,628	31,787	50,452	46,244
577,545	588,750	596,897	567,803	571,406	542,334	478,423
1,796,343	1,805,141	2,153,790	2,255,747	1,740,822	1,794,146	1,660,685
1,328,459	1,358,086	1,526,921	1,567,834	1,293,323	1,347,610	1,214,417
1,234,012	1,264,281	1,392,966	1,421,981	1,194,643	1,241,420	1,114,598
94,447	93,805	133,955	145,853	98,680	106,190	99,819
1,328,459	1,358,086	1,526,921	1,567,834	1,293,323	1,347,610	1,214,417
7,014,286	6,711,536	6,585,639	6,553,836	6,278,430	6,032,096	5,849,673

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
28,644	27,471	26,307	25,358	24,483	23,644	22,860
20,376	19,302	18,238	17,391	16,621	15,888	15,212
8,268	8,169	8,069	7,967	7,862	7,756	7,648
67,574	68,745	63,559	59,603	59,189	58,226	57,958
62,031	63,103	57,817	53,759	53,241	52,172	51,796
5,543	5,642	5,742	5,844	5,948	6,054	6,162
96,218	96,216	89,866	84,961	83,672	81,870	80,818

(6) 水道施設整備計画

① 水道施設整備事業（消費税込み）

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
老朽管の更新	274,000	259,000	301,000	245,000	225,000	1,304,000
老朽基幹管路の更新	229,000	321,500	321,500	240,000	231,500	1,343,500
管路の整備	280,900	333,400	314,400	308,400	310,400	1,547,500
未普及地域の整備	59,900	58,200	58,200	58,200	58,200	292,700
基幹施設の整備（※ ¹ ）	153,000		10,500	43,000	21,500	228,000
給水管のステンレス化	194,940	189,240	189,240	189,240	189,240	951,900
うち鉛給水管の更新	138,040	138,040	138,040	138,040	138,040	690,200
消火栓の整備	14,275	17,500	17,500	17,500	17,500	84,275
事務費	86,157	85,176	79,928	81,208	87,422	419,891
計	1,292,172	1,264,016	1,292,268	1,182,548	1,140,762	6,171,766

※¹ 基幹施設の整備内訳

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
伏木低区配水場（耐震化）						
中田配水場管理室（耐震化）						
国吉配水場配水池（耐震化）	153,000					153,000
国吉配水場管理棟（耐震化）						
国吉配水場高架配管（更新）			5,000		10,500	15,500
上関配水場配水池（更新検討）						
佐野取水場管理室（耐震化）				5,500	11,000	16,500
能町ポンプ（耐震化）			5,500	11,000		16,500
五位浄水場（更新）				26,500		26,500
その他小規模施設（耐震診断等）						
計	153,000		10,500	43,000	21,500	228,000

② 固定資産購入事業

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
土地				2,000		2,000
機械及び装置	3,897	4,800	29,600	14,400	55,100	107,797
工具・器具及び備品	62,919	4,320	4,320	4,400	4,400	80,359
量水器	14,189	15,242	10,882	12,600	12,289	65,202
車両運搬具		1,620	2,592	1,650	2,640	8,502
計	81,005	25,982	47,394	35,050	74,429	263,860

③ 施設補修事業

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
幹線仕切弁の整備	1,700	1,200	1,200	1,200	1,200	6,500
建物の外壁補修等						
配水池の補修、塗装	81,200	75,000	34,000	33,700	60,000	283,900
取水井の補修						
水管橋の塗装				10,000		10,000
配水池の清掃・点検						
設備の整備、補修						
フェンス設置等安全対策	8,872	10,000	10,000	9,900	6,600	45,372
計	91,772	86,200	45,200	54,800	67,800	345,772

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
225,000	225,000	225,000	225,000	225,000	1,125,000	2,429,000
231,500	249,000	232,000	232,000	231,000	1,175,500	2,519,000
309,400	298,400	298,400	298,400	298,400	1,503,000	3,050,500
58,200	58,200	58,200	58,200	58,200	291,000	583,700
380,000	493,000	10,500	76,800	11,000	971,300	1,199,300
189,240	189,240	189,240	189,240	189,240	946,200	1,898,100
138,040	138,040	138,040	138,040	138,040	690,200	1,380,400
17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	87,500	171,775
98,790	103,776	105,589	103,020	104,478	515,653	935,544
1,509,630	1,634,116	1,136,429	1,200,160	1,134,818	6,615,153	12,786,919

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
			13,000		13,000	13,000
			5,500	11,000	16,500	16,500
						153,000
		5,500	11,000		16,500	16,500
210,000	210,000				420,000	435,500
		5,000			5,000	5,000
						16,500
						16,500
170,000	283,000				453,000	479,500
			47,300		47,300	47,300
380,000	493,000	10,500	76,800	11,000	971,300	1,199,300

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
						2,000
21,700	8,600	11,700	30,400	21,600	94,000	201,797
11,091	26,400	4,400	4,400	4,400	50,691	131,050
11,622	15,978	14,037	13,012	18,594	73,243	138,445
1,650	1,650	1,650	2,640	1,650	9,240	17,742
46,063	52,628	31,787	50,452	46,244	227,174	491,034

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	12,500
4,000	42,200	64,000	8,500		118,700	402,600
15,000			1,200	20,000	36,200	36,200
	16,000				16,000	26,000
5,850	6,600	8,650	5,550	5,000	31,650	77,022
26,050	66,000	73,850	16,450	26,200	208,550	554,322

2 下水道事業の投資・財政計画

(1) 投資・財政計画の方針

下水道事業の安定的な事業運営に向けて、下水処理場・ポンプ場・管渠（管路）の長寿命化や耐震化は先延ばしにできない状況であり、アセットマネジメントの実施を踏まえて投資水準の抑制・平準化を図りながら施設整備計画を策定し、計画に基づいた事業の着実な実施が求められます。

一方で、投資事業には多大な資金が必要となるため、その「投資試算」（投資事業にかかる費用の見通し）と「財源試算」（下水道使用料収入など財源の見通し）を均衡させることが、持続可能な下水道事業を実現するうえで非常に重要になります。

(2) 投資・財源確保の検討事項

投資事業に必要な財源を確保し、「投資試算」と「財源試算」を均衡させるためには、未普及地区整備において地域に最も適した方法を検討するなど「投資の合理化」を進めることで投資費用の圧縮を図るとともに、「経営の効率化」を進めることで事業運営にかかる経常的なコストの削減を図ることが必要となります。

しかし、「投資の合理化」や「経営の効率化」を進めても、なお不足する財源を確保するためには、「使用料の見直し」や「企業債の発行」を検討する必要があります。

ただし、投資事業に不足する財源を「企業債の発行」によりまかなうことは、人口減少社会では、現役世代が負担すべき費用を将来世代が過度に負担することになるため、企業債発行を抑制することで、企業債残高を減少させていくことが必要となります。

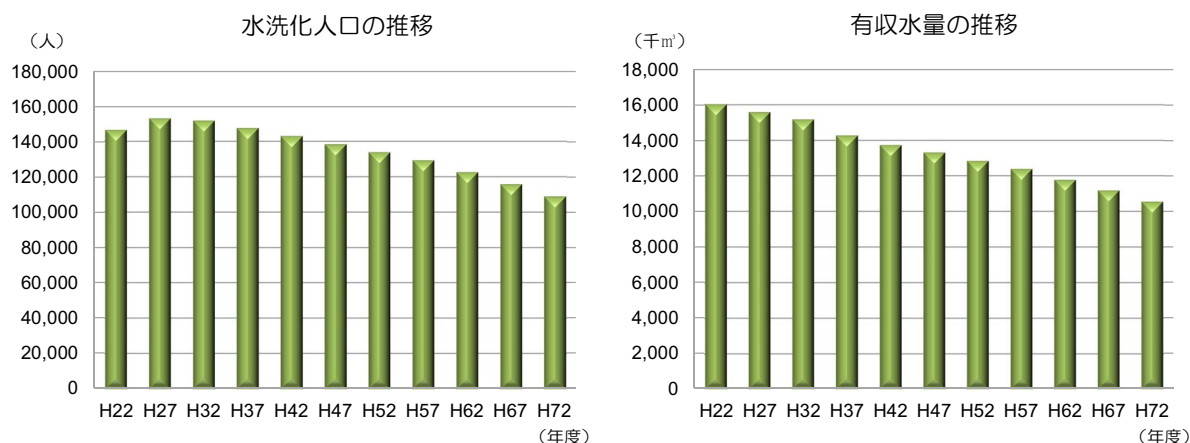
(3) 投資・財政計画の策定条件

① 水洗化人口・有収水量の推移

高岡市総合計画基本構想による将来人口推計に基づき試算した「水洗化人口の推移」では、本市の人口減少に伴い水洗化人口も減少する見通しです。

さらに、下水道未普及整備計画終了後から3年後の平成57年度以降は、水洗化人口の減少が加速していくと予想されます。

また、水洗化人口の減少に伴い有収水量も同様に減少していく見通しです。



【有収水量等の推移】

(単位：千㎡)

区 分	年 度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
総処理水量		30,438	30,247	30,013	29,645	29,305	28,875	28,551	28,068	27,670	27,245
汚水処理水量 (A)		26,152	25,961	25,727	25,359	25,019	24,589	24,265	23,782	23,384	22,959
有効水量		16,883	16,863	16,759	16,549	16,517	16,310	16,149	15,905	15,706	15,524
有収水量 (B)		15,391	15,355	15,301	15,167	15,042	14,847	14,691	14,457	14,261	14,066
無収水量		1,492	1,508	1,458	1,382	1,475	1,463	1,458	1,448	1,445	1,458
地下水		3,078	3,071	3,060	3,033	3,009	2,970	2,938	2,891	2,852	2,813
その他不明水		6,191	6,027	5,908	5,777	5,493	5,309	5,178	4,986	4,826	4,622
雨水水量		4,286	4,286	4,286	4,286	4,286	4,286	4,286	4,286	4,286	4,286
有収率 (B)/(A)		58.9%	59.1%	59.5%	59.8%	60.1%	60.4%	60.5%	60.8%	61.0%	61.3%

② 算定条件

前提条件		
水洗化人口		高岡市総合計画における将来人口推計に基づく。その上で下水道普及事業による処理区域内人口拡大などを加味し、水洗化人口を推計。
消費税率		平成31年度まで8%、平成32年度から10%とする。
有収率		目標として平成38年度末までに2.8%の上昇を見込む。
試算条件		
収益的収入	下水道使用料	水洗化人口から、現行料金水準での下水道使用料を算定。
	長期前受金戻入	固定資産の減価償却に見合う額を計上。
	その他	過去の実績値をベースに個別に変動要素を考慮して算定。
収益的支出	人件費	平成38年度末までに3名の職員数減を見込み、平成28年度給与費をベースに定期昇給分を考慮して算定。
	委託料	委託料は過去実績値に新規委託による増加分を合算。
	研修厚生費・旅費	過去の実績値をベースに人材育成に伴う資格取得などの費用を考慮して算定。
	減価償却費	平成27年度までの既得資産の減価償却費は固定資産システムより算定。これに、平成28年度以降に取得予定資産の減価償却費推計値を合算。
	支払利息	平成27年度までの借入実績分の支払利息額に平成28年度以降の借入予定額分の支払利息額を合算。
	その他費用	過去の実績値をベースに個別に算定。
資本的収入	企業債	各年度の借入額は、当該年度の元金償還額以下を原則とする。建設改良費及び自己財源の推移を考慮して算定。
	その他収入	国の交付要綱などにに基づき算定。
資本的支出	建設改良費	下水道施設整備計画に基づき算定。
	固定資産購入費	下水道施設整備計画に基づき算定。
	企業債元金償還	平成27年度までの借入実績分の元金償還額に平成28年度以降の借入予定額分の元金償還額を合算。
	その他支出	過去の実績値をベースに算定。

(4) 財政の見通し

収益的収支は、計画期間中において黒字を維持する見通しです。

一方で、投資に対する企業債充当率が非常に高いため、多額の企業債残高を抱えており財政の重い負担となっています。

また、今後も下水道整備事業や長寿命化対策などに投資を行っていくための多額の資金が必要となりますが、現行料金水準では、平成34年度に資本的収支不足額に対する補填財源が不足するという厳しい見通しとなっています。

(5) 下水道事業投資・財政計画

① 収益的収支（消費税抜き）

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 入 支 出 経 常 損 益 特 別 損 益 特 別 損 失 特 別 損 益 当 年 度 純 利 益 繰 越 利 益 剰 余 金 又 は 累 積 欠 損 金 流 動 資 産 流 動 負 債	収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益	3,325,544	3,322,540	3,296,535	3,268,937	3,244,561
		(1) 料 金 収 入	3,040,263	3,016,058	2,996,085	2,989,126	2,978,472
		(2) 受託事業収益					
		(3) そ の 他	285,281	306,482	300,450	279,811	266,089
		2. 営 業 外 収 益	2,421,180	2,302,759	2,281,877	2,296,097	2,276,681
		(1) 補 助 金	1,309,910	1,213,400	1,204,165	1,242,507	1,259,071
		他会計補助金	1,309,910	1,213,400	1,204,165	1,242,507	1,259,071
		その他補助金					
		(2) 長期前受金戻入	1,111,168	1,088,712	1,077,600	1,053,478	1,017,498
		(3) そ の 他	102	647	112	112	112
		収 入 計 (A)	5,746,724	5,625,299	5,578,412	5,565,034	5,521,242
	支 出 経 常 損 益	1. 営 業 費 用	4,357,178	4,348,178	4,414,116	4,424,933	4,456,585
		(1) 職 員 給 与 費	150,536	125,396	121,425	123,654	117,502
		基 本 給	67,937	59,189	56,158	57,378	52,848
		退 職 給 付 費	29,979	20,091	24,291	21,164	21,515
		そ の 他	52,620	46,116	40,976	45,112	43,139
		(2) 経 費	1,373,467	1,357,704	1,439,065	1,397,723	1,398,589
		流域下水道維持管理負担金	705,321	715,063	717,785	717,938	717,046
		動 力 費	78,561	76,132	81,944	81,944	81,944
		維持管理費・物件費	503,266	556,670	603,160	561,665	563,423
		そ の 他	86,319	9,839	36,176	36,176	36,176
		(3) 減 価 償 却 費	2,833,175	2,865,078	2,853,626	2,903,556	2,940,494
		2. 営 業 外 費 用	1,153,159	1,089,844	998,114	947,219	870,900
		(1) 支 払 利 息	1,136,138	1,073,662	970,244	919,349	843,030
		(2) そ の 他	17,021	16,182	27,870	27,870	27,870
		支 出 計 (B)	5,510,337	5,438,022	5,412,230	5,372,152	5,327,485
		経 常 損 益 (A) - (B) (C)	236,387	187,277	166,182	192,882	193,757
	特 別 利 益 (D)		62,190	74,841	39,816	39,816	40,316
	特 別 損 失 (E)		86,643	86,603	86,705	50,103	103
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)		△24,453	△11,762	△46,889	△10,287	40,213
	当年度純利益（又は純損失）(C) + (F)		211,934	175,515	119,293	182,595	233,970
	繰越利益剰余金又は累積欠損金		218,935	394,450	513,743	548,124	403,181
	流 動 資 産		1,428,347	1,429,086	1,483,954	1,412,205	1,347,242
	う ち 未 収 金		420,397	420,397	420,397	419,421	417,926
	流 動 負 債		4,960,306	5,005,836	5,100,752	5,160,428	5,185,747
	うち建設改良費分		3,892,389	4,019,420	4,116,321	4,175,745	4,201,760
	うち一時借入金						
	う ち 未 払 金		970,701	970,702	970,702	970,702	970,702

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
3,214,189	3,183,096	3,141,680	3,105,211	3,057,246	3,015,063	2,973,502
2,952,419	2,928,263	2,890,217	2,859,731	2,814,215	2,776,196	2,738,123
261,770	254,833	251,463	245,480	243,031	238,867	235,379
2,248,117	2,262,758	2,283,018	2,299,097	2,317,332	2,323,310	2,316,426
1,231,043	1,243,913	1,260,010	1,270,821	1,283,924	1,284,933	1,279,978
1,231,043	1,243,913	1,260,010	1,270,821	1,283,924	1,284,933	1,279,978
1,016,962	1,018,733	1,022,896	1,028,164	1,033,296	1,038,265	1,036,336
112	112	112	112	112	112	112
5,462,306	5,445,854	5,424,698	5,404,308	5,374,578	5,338,373	5,289,928
4,473,347	4,505,432	4,536,364	4,564,163	4,600,374	4,631,400	4,662,636
119,400	121,350	128,492	130,648	142,335	144,720	147,150
53,693	54,551	56,798	57,750	62,910	63,960	65,040
21,879	22,243	24,360	24,766	26,985	27,435	27,900
43,828	44,556	47,334	48,132	52,440	53,325	54,210
1,376,515	1,369,712	1,356,564	1,345,269	1,332,855	1,324,558	1,316,426
699,511	694,893	686,437	679,664	669,419	660,940	652,453
81,944	81,944	81,944	81,944	81,944	81,944	81,944
558,884	556,699	552,007	547,485	545,316	545,498	545,853
36,176	36,176	36,176	36,176	36,176	36,176	36,176
2,977,432	3,014,370	3,051,308	3,088,246	3,125,184	3,162,122	3,199,060
796,281	721,969	651,741	587,040	531,943	485,226	444,577
768,411	694,099	623,871	559,170	504,073	457,356	416,707
27,870	27,870	27,870	27,870	27,870	27,870	27,870
5,269,628	5,227,401	5,188,105	5,151,203	5,132,317	5,116,626	5,107,213
192,678	218,453	236,593	253,105	242,261	221,747	182,715
40,316	40,316	40,316	40,316	40,316	40,316	40,316
103	103	103	103	103	103	103
40,213	40,213	40,213	40,213	40,213	40,213	40,213
232,891	258,666	276,806	293,318	282,474	261,960	222,928
264,018	165,846	96,266				
1,297,327	1,283,644	1,233,379	1,127,156	979,928	820,537	654,875
414,270	410,881	405,543	401,265	394,878	389,543	384,201
5,048,363	4,904,518	4,717,802	4,547,466	4,383,963	4,206,823	4,029,688
4,064,161	3,920,096	3,732,573	3,561,993	3,397,169	3,219,759	3,042,349
970,702	970,702	970,702	970,702	970,702	970,702	970,702

② 資本的収支（消費税込み）

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入	1. 企 業 債	2,916,700	2,645,900	2,854,600	2,649,200	2,610,400
		うち資本費平準化債	1,550,000	1,532,000	1,511,000	1,450,000	1,380,000
		2. 他 会 計 出 資 金	259,979	385,308	450,531	482,828	529,986
		3. 他 会 計 補 助 金					
		4. 他 会 計 負 担 金					
		5. 他 会 計 借 入 金					
		6. 国（県）補助金	909,480	626,098	622,250	566,115	535,000
		7. 固定資産売却代金					
		8. 工 事 負 担 金	163,703	120,340	107,786	70,000	87,000
		9. そ の 他					
		計 (A)	4,249,862	3,777,646	4,035,167	3,768,143	3,762,386
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)					
		純 計 (A)－(B) (C)	4,249,862	3,777,646	4,035,167	3,768,143	3,762,386
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	2,561,569	1,894,662	2,151,482	2,007,629	2,008,507
		うち職員給与費	94,173	88,344	91,031	94,446	95,324
		2. 固 定 資 産 購 入 費	1,176	1,176	7,383	3,200	3,200
		3. 企 業 債 償 還 金	3,788,919	3,892,389	4,019,420	4,116,321	4,175,745
		4. そ の 他			100	100	100
		計 (D)	6,351,664	5,788,227	6,178,385	6,127,250	6,187,552
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)－(C) (E)		2,101,802	2,010,581	2,143,218	2,359,107	2,425,166	
補 填 財 源	1. 損益勘定留保資金	1,936,137	1,865,524	1,899,441	1,880,194	1,953,112	
	2. 利益剰余金処分数			148,214	378,913	372,054	
	3. 繰越工事資金						
	4. そ の 他	165,665	145,057	95,563	100,000	100,000	
	計 (F)	2,101,802	2,010,581	2,143,218	2,359,107	2,425,166	
補填財源不足額 (E)－(F)							
他会計借入金残高							
企業債残高		54,627,398	53,380,909	52,216,089	50,748,968	49,183,623	

③ 他会計繰入金

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 支 分			1,594,611	1,519,282	1,504,059	1,521,762	1,524,604
	うち基準内繰入金		1,439,309	1,519,282	1,504,059	1,521,762	1,524,604
	うち基準外繰入金		155,302				
資 本 的 収 支 分			259,979	385,308	450,531	482,828	529,986
	うち基準内繰入金		259,979	385,308	450,531	482,828	529,986
	うち基準外繰入金						
合 計			1,854,590	1,904,590	1,954,590	2,004,590	2,054,590

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
2,536,200	2,327,400	2,125,000	1,861,900	1,645,600	1,473,700	1,330,400
1,320,000	1,110,000	900,000	650,000	430,000	260,000	100,000
612,333	656,400	641,482	601,877	583,512	567,676	543,420
549,070	547,975	540,235	553,380	549,695	551,630	535,000
70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
3,767,603	3,601,775	3,376,717	3,087,157	2,848,807	2,663,006	2,478,820
3,767,603	3,601,775	3,376,717	3,087,157	2,848,807	2,663,006	2,478,820
2,009,967	2,006,453	2,014,001	2,015,541	2,010,586	2,012,176	2,011,283
96,784	93,270	95,792	97,332	94,890	96,480	98,100
3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
4,201,760	4,064,161	3,920,096	3,732,573	3,561,993	3,397,169	3,219,759
100	100	100	100	100	100	100
6,215,027	6,073,914	5,937,397	5,751,414	5,575,879	5,412,645	5,234,342
2,447,424	2,472,139	2,560,680	2,664,257	2,727,072	2,749,639	2,755,522
1,990,586	2,025,753	2,058,528	2,090,198	2,122,004	2,153,973	2,192,840
356,838	346,386	389,584	282,474	261,960	222,928	183,896
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
2,447,424	2,472,139	2,548,112	2,472,672	2,483,964	2,476,901	2,476,736
		12,568	191,585	243,108	272,738	278,786
47,518,063	45,781,302	43,986,206	42,115,533	40,199,140	38,275,671	36,386,312

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
1,492,257	1,498,190	1,510,917	1,515,745	1,526,399	1,523,244	1,514,801
1,492,257	1,498,190	1,510,917	1,515,745	1,526,399	1,523,244	1,514,801
612,333	656,400	641,482	601,877	583,512	567,676	543,420
612,333	656,400	641,482	601,877	583,512	567,676	543,420
2,104,590	2,154,590	2,152,399	2,117,622	2,109,911	2,090,920	2,058,221

(6) 下水道施設整備計画

① 下水道施設整備事業（消費税込み）

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
未普及地域の整備（公共）	264,200	200,000	200,000	200,000	200,000	1,064,200
未普及地域の整備（特環）	714,800	800,000	800,000	800,000	800,000	3,914,800
管渠の耐震化	175,000	162,300	196,000	212,600	234,500	980,400
基幹施設の耐震化・長寿命化（※ ¹ ）	375,500	337,700	304,000	287,400	265,500	1,570,100
雨水幹線・枝線の整備	101,000	100,000	100,000	100,000	100,000	501,000
事務費	137,214	107,629	108,507	109,967	106,453	569,770
計	1,767,714	1,707,629	1,708,507	1,709,967	1,706,453	8,600,270

※¹ 基幹施設の耐震化・長寿命化内訳

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
四屋浄化センター（耐震化）	6,000	5,000	15,000			26,000
〃（長寿命化）	233,300		154,500	102,200	259,500	749,500
伏木浄化センター（長寿命化）	83,700			179,200		262,900
松太枝浜浄化センター（長寿命化）	44,500	276,700				321,200
住吉ポンプ場（長寿命化）			128,500			128,500
マンホールポンプ（長寿命化）	8,000	6,000	6,000	6,000	6,000	32,000
ストックマネジメント計画策定（長寿命化）		50,000				50,000
計	375,500	337,700	304,000	287,400	265,500	1,570,100

② 固定資産購入事業

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
機械及び装置	1,500					1,500
工具・器具及び備品	3,183	500	500	500	500	5,183
車両運搬具	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	13,500
計	7,383	3,200	3,200	3,200	3,200	20,183

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	1,000,000	2,064,200
800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,000,000	7,914,800
206,500	126,400	200,100	161,400	255,500	949,900	1,930,300
293,500	373,600	299,900	338,600	244,500	1,550,100	3,120,200
100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000	1,001,000
114,001	115,541	110,586	112,176	111,283	563,587	1,133,357
1,714,001	1,715,541	1,710,586	1,712,176	1,711,283	8,563,587	17,163,857

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
						26,000
104,700	367,600		332,600	238,500	1,043,400	1,792,900
88,000		293,900			381,900	644,800
94,800					94,800	416,000
						128,500
6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000	62,000
						50,000
293,500	373,600	299,900	338,600	244,500	1,550,100	3,120,200

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
						1,500
500	500	500	500	500	2,500	7,683
2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	13,500	27,000
3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000	36,183

(7) 財政の健全化

下水道事業については、流動資産の保有水準が低く、資金繰りが課題となっているため、資金不足が生じる可能性に留意して財源確保を図る必要があります。

投資・財政計画の算定結果では、収益的収支は黒字を計上していますが、平成34年度から資本的収支不足額に対する補填財源不足が発生し、平成38年度までの5年間で約10億円の財源が不足すると見込まれます。

財源不足を解消するため、業務の効率化や可能な限りの経費節減を図るなどの一層の経営努力を行うなかで、平成33年度までに繰入金のあり方や下水道使用料水準について検討していく必要があります。

3 工業用水道事業の投資・財政計画

(1) 投資・財政計画の方針

工業用水道事業の収支は、今後契約水量の減少により厳しくなる見通しです。

工業用水道事業の健全性を確保するためには、「財源試算」（供給先からの料金収入）と「投資試算」（投資事業にかかる費用の見通し）を均衡させることが重要になります。

(2) 投資・財源確保の検討事項

投資事業に必要な財源を確保し、「投資試算」と「財源試算」を均衡させるためには、定期的に保守や補修などを行い、工業用水道施設の長寿命化を進め、投資費用を抑制するなど「投資の合理化」を図るとともに、「経営の効率化」を進めることで事業運営にかかる経常的なコストの削減を図ることが必要となります。

しかし、「投資の合理化」や「経営の効率化」を進めても、なお不足する財源を確保するためには、「料金の見直し」を検討する必要があります。

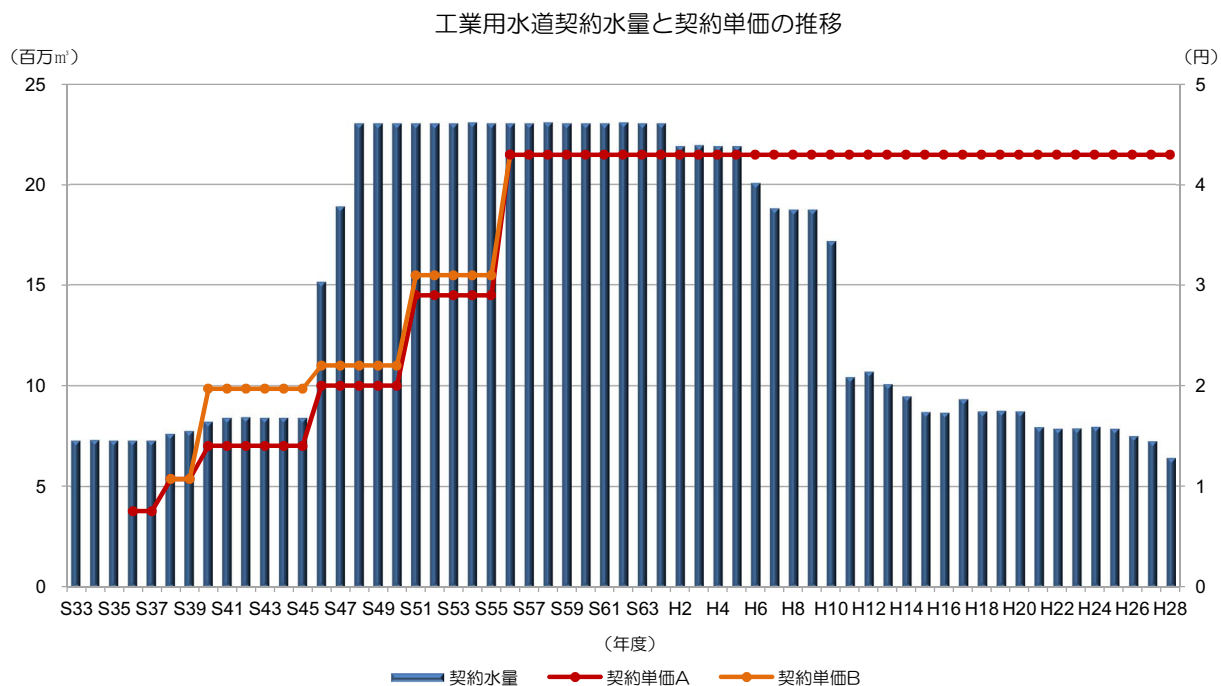
(3) 投資・財政計画の策定条件

① 契約単価・水量の推移

契約単価は、昭和56年4月の改定以降、同額（4.3円/㎥）で推移しています。

契約水量は、昭和48年度から平成元年度までの23,031,500㎥/年（63,100㎥/日）がピークで、その後は減少傾向が続き、平成28年度には6,424,000㎥/年（17,600㎥/日）とピーク時に比べて16,607,500㎥/年（45,500㎥/日）減少しています。

平成29年度以降も、契約水量が減少する見通しです。



【契約水量の推移】

区 分 \ 年 度	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
契約水量 (m ³ /日)	14,600	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700
対H28 (m ³ /日)	△3,000	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900	△2,900

② 算定条件

前提条件		
消費税率		平成31年度まで8%、平成32年度から10%とする。
試算条件		
収益的収入	給水収益	契約水量は、平成29年度は14,600m ³ /日、平成30年度以降は14,700m ³ /日で算定。 契約単価は、現行料金水準の4.3円/m ³ で算定。
	長期前受金戻入	固定資産の減価償却に見合う額を計上。
	その他	過去の実績値をベースに個別に算定。
収益的支出	人件費	平成28年度給与費をベースに定期昇給分を考慮して算定。
	動力費	契約水量の減少に伴い、ポンプ1台稼働で算定。
	委託料	委託料は過去実績値に新規委託による増加分を合算。
	減価償却費	平成27年度までの既得資産の減価償却費は固定資産システムより算定。これに、平成28年度以降に取得予定資産の減価償却費推計値を合算。
	その他費用	過去の実績値をベースに個別に算定。
資本的支出	建設改良事業費	工業用水道施設整備計画に基づき算定。

(4) 財政の見通し

平成29年度から、契約水量の減少などにより赤字となる見通しです。

一方で、老朽化施設の修繕などに投資を行っていくための資金が必要となるため、現行の料金水準のままでは将来的に資金不足となり、長期的な事業運営は困難となるという厳しい見通しとなっています。

(5) 工業用水道事業投資・財政計画

① 収益的収支（消費税抜き）

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 入 収 支 的 支 出	収 入	1. 営 業 収 益	31,238	28,405	22,914	23,071	23,134
		(1) 料 金 収 入	31,238	28,405	22,914	23,071	23,134
		(2) 受託工事収益					
		(3) そ の 他					
		2. 営 業 外 収 益	2,147	1,894	1,869	1,869	1,844
		(1) 補 助 金					
		他会計補助金					
		その他補助金					
		(2) 長期前受金戻入	1,785	1,784	1,784	1,784	1,784
		(3) そ の 他	362	110	85	85	60
		収 入 計 (A)	33,385	30,299	24,783	24,940	24,978
	支 出	1. 営 業 費 用	31,719	29,193	32,797	33,147	32,963
		(1) 職 員 給 与 費	9,312	7,185	12,456	12,598	12,742
		基 本 給	4,217	3,569	6,413	6,476	6,540
		退職給付費	1,461	786	1,601	1,628	1,655
		そ の 他	3,634	2,830	4,442	4,494	4,547
		(2) 経 費	14,017	13,518	11,064	11,329	11,214
		動 力 費	11,003	11,112	8,000	8,000	8,000
		維持管理費・物件費	3,014	2,406	3,064	3,329	3,214
		そ の 他					
		(3) 減価償却費	8,390	8,490	9,277	9,220	9,007
		2. 営 業 外 費 用		310	310	310	310
		(1) 支 払 利 息		10	10	10	10
		(2) そ の 他		300	300	300	300
		支 出 計 (B)	31,719	29,503	33,107	33,457	33,273
	経 常 損 益 (A) - (B) (C)		1,666	796	△8,324	△8,517	△8,295
	特 別 利 益 (D)				20	20	20
	特 別 損 失 (E)				20	20	20
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)						
	当年度純利益（又は純損失）(C) + (F)		1,666	796	△ 8,324	△ 8,517	△ 8,295
	繰越利益剰余金又は累積欠損金		11,433	10,563	1,443		
	流 動 資 産		423,016	410,579	404,538	404,121	398,951
		うち未収金	2,822	2,534	2,102	2,116	2,166
	流 動 負 債		1,398	970	1,484	1,493	1,502
		うち建設改良費分					
		うち一時借入金					
		うち未払金	1,001	470	770	770	770

(単位：千円)

平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
23,071	23,071	23,071	23,134	23,071	23,071	23,071
23,071	23,071	23,071	23,134	23,071	23,071	23,071
1,844	1,844	1,844	1,844	1,844	1,844	1,844
1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784	1,784
60	60	60	60	60	60	60
24,915	24,915	24,915	24,978	24,915	24,915	24,915
33,066	33,519	34,172	34,497	34,747	34,795	35,822
12,888	13,038	13,190	13,344	13,501	13,660	13,822
6,605	6,671	6,738	6,806	6,875	6,945	7,017
1,683	1,711	1,740	1,769	1,799	1,829	1,860
4,600	4,656	4,712	4,769	4,827	4,886	4,945
11,325	11,351	11,325	11,214	11,325	11,214	11,462
8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
3,325	3,351	3,325	3,214	3,325	3,214	3,462
8,853	9,130	9,657	9,939	9,921	9,921	10,538
310	310	310	310	310	310	310
10	10	10	10	10	10	10
300	300	300	300	300	300	300
33,376	33,829	34,482	34,807	35,057	35,105	36,132
△8,461	△8,914	△9,567	△9,829	△10,142	△10,190	△11,217
20	20	20	20	20	20	20
20	20	20	20	20	20	20
△8,461	△8,914	△9,567	△9,829	△10,142	△10,190	△11,217
					△7,135	△18,352
391,903	384,692	377,614	373,514	367,068	359,677	331,708
2,155	2,155	2,155	2,155	2,155	2,155	2,155
1,511	1,521	1,531	1,541	1,551	1,561	1,271
770	770	770	770	770	770	470

② 資本的収支（消費税込み）

区 分			年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入	1. 企 業 債						
		うち資本費平準化債						
		2. 他 会 計 出 資 金						
		3. 他 会 計 補 助 金						
		4. 他 会 計 負 担 金						
		5. 他 会 計 借 入 金						
		6. 国（ 県 ） 補 助 金						
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金						
		8. 工 事 負 担 金						
		9. そ の 他						
		計 (A)						
		(A) のうち翌年度へ繰り越され る支出の財源充当額 (B)						
		純 計 (A)－(B) (C)						
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 事 業 費			6,912			
		うち 職 員 給 与 費						
		2. 固 定 資 産 購 入 費		20,336			1,300	
		3. 企 業 債 償 還 金						
		4. そ の 他						
	計 (D)		20,336	6,912		1,300		
	資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D)－(C) (E)				20,336	6,912		1,300
補 填 財 源	1. 損益勘定留保資金		18,830	6,400		1,204		
	2. 利益剰余金処分額							
	3. 繰越工事資金							
	4. そ の 他		1,506	512		96		
	計 (F)		20,336	6,912		1,300		
補填財源不足額 (E)－(F)								
他会計借入金残高								
企 業 債 残 高								

③ 他会計繰入金

区 分		年 度	平成27年度 (決 算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収 益 的 収 支 分							
	うち基準内繰入金						
	うち基準外繰入金						
資 本 的 収 支 分							
	うち基準内繰入金						
	うち基準外繰入金						
合 計							

(単位：千円)

[illegible]

(単位：千円)

[illegible]

(6) 工業用水道施設整備計画

① 工業用水道施設整備事業（消費税込み）

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
水質計器の整備	6,912					6,912
流量計の整備			1,300	7,000	7,000	15,300
ポンプの更新						
水位計の更新						
高圧受電機器の更新						
計	6,912		1,300	7,000	7,000	22,212

② 施設補修事業

事業年度	第 1 次					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	計
取水施設の塗替え			3,600			3,600
取水口フェンスの取替え						
小規模修理	200	200	200	200	200	1,000
計	200	200	3,800	200	200	4,600

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
						6,912
						15,300
				28,600	28,600	28,600
2,000					2,000	2,000
	3,500				3,500	3,500
2,000	3,500			28,600	34,100	56,312

(単位：千円)

第 2 次						合 計
平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	計	
		5,200			5,200	8,800
4,300					4,300	4,300
200	200	200	200	200	1,000	2,000
4,500	200	5,400	200	200	10,500	15,100

（７）財政の健全化

工業用水道事業については、事業、サービスの提供を安定的に継続するために必要な施設・設備に対する投資を適切に見込んだ上での「純利益（黒字）」を計上し、収支均衡させる必要があります。

投資・財政計画の算定結果では、平成29年度から収益的収支において純損失（赤字）を計上するとともに、平成37年度には累積欠損金が発生し、平成38年度末の累積欠損金は約1千8百万円を計上する見込みです。

今後も、健全で安定的な事業運営を維持していくためには、工業用水道料金水準の見直しを図ることで収支不足を解消し、財政の健全化を図る必要があります。